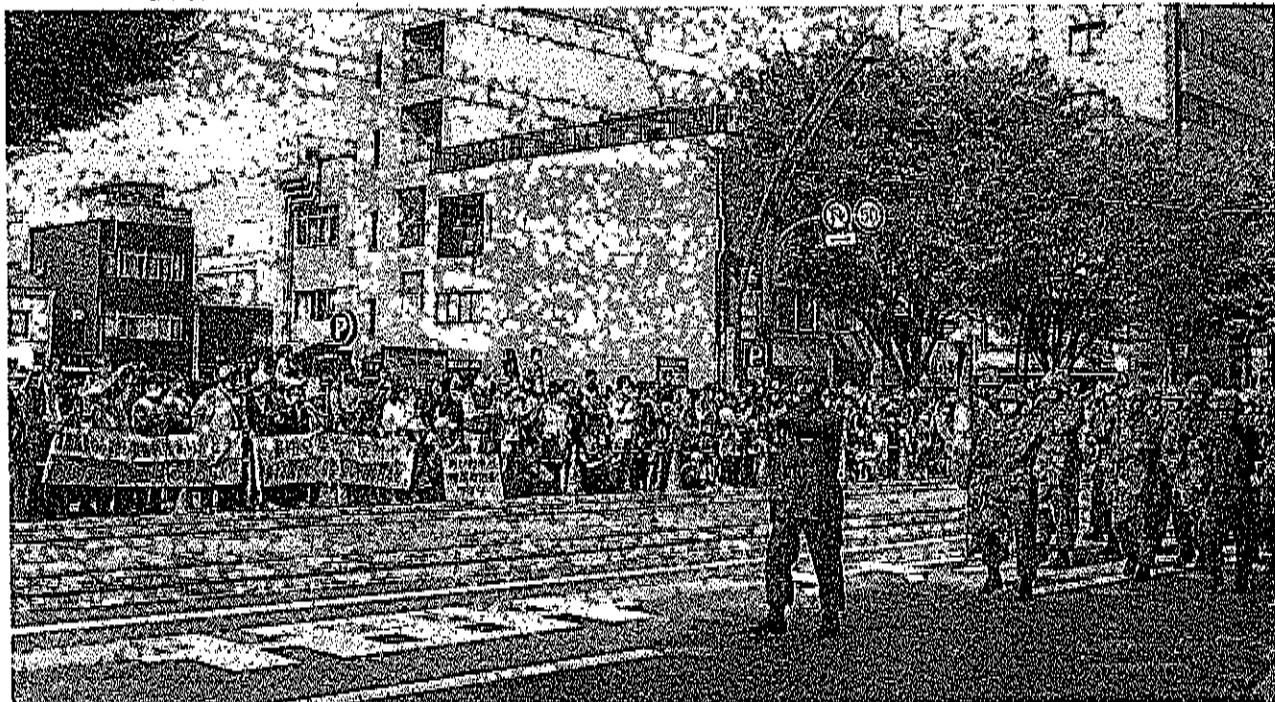


パレードに抗議する連絡会の人たち=23日、福井市



## あなたたちを戦場に送らない

# 自衛隊パレードに抗議

陸・海・空自衛隊のパレードが23日、福井市中心部で実施され、隊員や軍事車両の行進、戦闘機の総閲飛行が行われました。会場では「戦争する国ひづる」反対福井県連絡会が横断幕を広げて抗議のスタンディングを行いました。

## 福井・市民がアピール

同パレードは、鯖江駐屯地（同県鯖江市）の50周年記念を名目に自衛隊主催で2013年に開かれ、翌14年から実行委員会形式で続けられてくるもの

木誠一郎・県防衛協会会長が「日本を守るために自衛隊の役割はさらにもっと重要になってくる」とあいさつを行ったほか、県選出の稻田明美

上院議員、15戦闘機やヘリが飛行し、路上では、銃をもつた隊員らのほか、戦車を載せた車両や甲機動車などが行進しました。

戦争する国ひづる反対連絡会のメンバーからは「あなたたちを戦場に送らない」「戦争する道でない」の条を生かす平和な日本を」と記した横断幕を広げてアピールしました。抗議活動には日本共産党議員の三田ふみは福井市議、三田ふみは福井市議が参加しました。

そのうえ、JR駅構内に掲示された「自衛隊パレードに参加する中学生が例がないと聞きました。あるいは杉本知事や国会議員は大雨災害救援での自衛隊の役割を強調していますが、軍事費倍増で戦争する国となれば、災害救援の役割は後回しにされる問題もあります。軍拡問題もあります。軍拡は礼賛につながらかねない軍事パレードは許されません」と話していました。

実行委員会長の八戸、市役所などがある

学校や裁判所、県